

事業所名

聴覚障害児児童クラブきらきら

支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人(事業所)理念		聞こえない子どもに必要な「視る(みる)」力を育て、一人ひとりに寄り添い、共有体験や異年齢の交流を通して、社会性と個人のもつ良さが育まれることを目指します。									
支援方針		集団活動を通して、気づき(興味・関心、主体性)、ことば(言語発達、思考発達)、社会性(協調性、自立性)を育てます。									
営業時間		放課後	14時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	○あり	なし
		長期休み 土曜日	9時	00分	から	16時	00分	まで			
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	心身の健康状態を把握します。うがいや手洗いなど、自分自身の健康管理ができるよう支援していきます。 自分で身支度や物の管理等ができるように支援します。 季節の行事等を取り入れ、豊かな発想や創造力を大切に活動を行います。 視覚的に構造化された生活環境を整えることで、時間や活動の予定等を把握しやすく、見通しを持って時間に応じた行動の切り替えができるよう支援します。									
	運動・感覚	手話コミュニケーションに必要な目の使い方を身に付けられる環境を提供します。 季節の行事等を取り入れ、豊かな発想や創造力を大切に活動を行います。視覚や触覚を刺激するようなゲームやクイズ、おやつを通して、様々な感覚を知る経験を提供します。 声の大きさを視覚的な情報等を用いて伝えることで、声の大きさの調整ができるように支援します。 人工内耳や補聴器の役割や取り扱いの理解を促します。(例)雑に扱わない									
	認知・行動	自分の気持ちや感情に気が付き、言葉(手話等)で伝えられるよう支援します。 自分の得意なことや苦手なことを知り、自己理解をしていくことを促します。 どのような場かをわかりやすく伝えていくことで、自ら考えてその場にふさわしい行動をできる力を伸ばします。(例)帰りの会だから静かにする。 相手の言語に合わせて、手話・口話・筆談など様々なコミュニケーション方法を使い分けられるよう支援します。									
	言語 コミュニケーション	自分の思いや考えを言語化(手話等)し、場面や相手に合わせた適切な伝え方が選択できるよう支援します。 手話の単語を増やす、言い回し(文法)の知識を増やします。 遊び(指文字でしりとりなど)を通じて、楽しくコミュニケーションの幅を広げます。 伝える、伝わる、伝えあう経験を積み重ね、集団の中に全員が参加できるようにそれぞれのコミュニケーション力を深めます。									
	人間関係 社会性	集団生活の中で、自分の気持ちや感情をコントロールする手段が身に付くよう支援します。 ごっこ遊びや模擬店遊びなど他の人になりきって遊ぶことを通して、他の人の状況や気持ちを理解できるよう促します。 自分の思いや考えが相手に伝わっているか、相手の意図を理解できているかを意識した双方向のコミュニケーション力が身につくよう支援します。 異年齢の集団生活の中で、役割やルールを学べる環境を提供します。 自分から考える、決定する、提案する力を養うための支援をします。 聴覚障害児にはわかりづらい暗黙のルールを明文化して、理解を促します。 成人ろう者をロールモデルとして接することで、自分なりに生きる工夫や困りごとへの対処法を学べる機会を提供します。 お出かけ企画やボランティアとの交流を通して、聞こえる人との関わり方を学び、コミュニケーションスキルを身に付ける機会を提供します。									
家族支援		本人と家族それぞれが安心して過ごせる居場所や時間を増やし、ご家族の子育てと地域生活をサポートしていきます。 手話を主とするコミュニケーション技術指導や本人との係わり方に関する助言をします。 聴覚障害者・ろう者の生活・文化・社会に関する情報提供をします。				移行支援		他の放デイや学童クラブなどと交流する機会を作ります。			
地域支援・地域連携		地域の手話サークルなどと交流する機会を作ります。				職員の質の向上		虐待防止研修、各種避難訓練の他、手話の知識向上、聴覚障害にかかわる研修、障害者福祉に関する研修、事例研修等を行います。			
主な行事等		長期休み期間を中心に、お出かけ(公共交通機関、貸し切りバス等)、クリスマス会、夏祭り、ボウリング、ミニ運動会、ろう者ゲストを招いて交流など行います。									